



11
vol.46

NEWS



月に一度の握り寿司の日（特養部）



- 発行者 北広島リハビリセンター 特養部四恩園
- 住 所 〒061-1153 北広島市富ヶ岡509-31
- T E L (011)373-6655
- F A X (011)373-6611
- ホームページ <http://www.shionen.or.jp>
- E-mail tokuyo@shionen.or.jp
- 編集発行 広報委員会
- 編集発行責任者 三瓶 徹

お客様が安心して喜んでもらえるケアへ

施設サービス課係長 長谷川智彦

四恩園で暮らすお客様に適切なケアをお届けし、安心して日常生活を送つて頂こうと三大ケア（食事・入浴・排泄）改善委員会が立ちあがったのが、今から三年前平成二十一年春のことです。その根底には「日常生活が大切にされない非日常なんてあり得ない！」つまり、「日常生活の当たり前の生活が保障されないとこころに、行事や外出などの非日常（特別な事）があつても楽しめるだろうか？」いや楽しめるわけがない！だから、まずはその人の日常生活をしっかりと支えよう。」という考え方があるのです。月日は流れ、委員会構成メンバーの入れ替えがあつたり、新たに「褥瘡改善委員会」「リスクマネジメント研修委員会」という委員会が加わつたり、紆余曲折ありながらも活動が途切れることなく、現在も計五つの委員会が活動を行つてます。各委員会の活動内容は下記をご覧になつて頂きたいのですが、今後もお客様お一人お一人に寄り添いながら、自分達に求められるケアが適切に行われるよう、チームに対して管理・教育・支持的な役割を果たしていきたいと考えています。各委員会の一つひとつを取り組みが四恩園の基本理念の具現化に繋がり、ひいてはお客様のより良い生活実現に繋がる事を願つて。時を同じくし、お客様の尊厳を支えようと、オムツ交換中心の作業からト

イレ誘導中心のケアに切り替える「オムツ外し」の取り組みが始まったのもちょうどその頃でした。当時、「オムツを外そう！」など全く考えた事のなかつた私たちが、「オムツ外し」という聞き慣れない言葉とそれに伴う理論に基づくケアに戸惑いを覚えながらも、少しずつ職員間にその理解が広がり取り組めるようになって、日中オムツ使用率ゼロという一つの目標を達成したのが平成二十三年六月のこと。始まつて二年一ヶ月のことでした。そこまでは、自分達のやつてきたこととのギャップに葛藤する苦しい時期もありました。挫折しそうな時期もありました。しかし、介護職が一人ひとりのお客様と対話しながら、どうしたらオムツに頼らずに生活できるか考え、実践する、チームで話し合うという日々が絶え間なく繰り返されて行きました。介護職だけではなくお風呂に入つて頂くための取り組みを行つてます。今年度は入浴拒否が強い方に対して、お誘いする時は、生活相談員や看護師が支えてくれ、まさにオムツ外しはチームの力が試されるものでした。試される中で、チームは変化し成長したとも振り返ります。今後は、オムツが外れて○○、トイレに行けるようになつて○○。その○○を大事にしたいと思います。そこには私たち職員の想いが十二分に反映されるわけです。目の前のお客様にどうあつて欲しいのか……。決してオムツを外す事が目標ではない。外れたその先に目標がある。私たちの関わり次第でお客様はもっと喜んでくれるはず。そう考えると私たちはこの歩みを止めるわけには行きません。これから前進あるのみです。

五大ケア改善委員会

（食事委員会）

食事委員会ではお客様が美味しく、楽しく食事ができる事を目標として取り組んでいます。食事形態や食事をする時の姿勢など個別に検討し、その方に合つた食事を目指しています。今後も一人一人に合つた食事を提供していくよう、食事形態、食事環境、援助方法をチーム一丸と

なつて検討していきます。

（入浴委員会）
入浴委員会では、お客様に気持ちよくお風呂に入つて頂くための取り組みを行つてます。今年度は入浴拒否が強い方に対して、お誘いする時は、他委員会とも協力しながら、

（褥瘡委員会）
褥瘡委員会の発足の経緯は、平成二十二年のケア会議で褥瘡をテーマ

としている褥瘡ゼロには至つていませ

んが、褥瘡が改善され、一年以上再発

しない実績もあります。まだ褥瘡で

苦しんでいるお客様も数名いらっしゃいますが、「絶対に良くする！

諦めない！」気持ちをもつてこれから

も努めていきたいと思っています。

（リスクマネジメント研修委員会）
二十二年度より編成された委員会

であり、主任以上の職員がメンバー

となり、全体的なリスクマネジメン

トや、新人職員、実習生への教育、

指導方針を確立させています。上

がつてきました課題を少しでも早く解決

する為、職員全員が統一したケアを

行えるよう、主にケア会議でグルー

ープワークなどを用いながら研修を

行つてます。お客様に安心した自

分らしい生活を送つて頂けるよう、

私たちも日々の出来事と向き合つてあります。

く自然排便に近づくにはどうしたらよいかというところに焦点を当て取り組んでいるところです。個々の状態に応じた排泄方法の確立を目指すがるよう努めています。

（排泄委員会）
排泄委員会発足当初は、日中オム

ツゼロを目指し皆で取り組んできま

したが、現在は目標だった日中オム

ツゼロが達成され新たな課題に入つたところだと思います。お客様に少

しでも気持ちよく排泄してもらえる

ように個々の排泄を見直し、可能な

限りトイレで排泄してもらうこと、

排便困難な方にはできるだけ苦痛な

委員会掲示板

ボランティア活動を

パネル展で紹介



毎年恒例の「北広島市 福祉パネル展」が行われました。パネル展では、北広島市内で活動しているボランティア団体などが約七十団体参加し、日頃の活動の取り組みをパネルで紹介しています。四恩園からも、ボランティアふくろうの会、はじめ、四恩園に日頃ご協力頂いているボランティアの方々の活動風景を写真などで紹介させて頂きました。納涼祭や敬老祭、外出など、どの写真からも、ボランティアの方々と楽しそうに過ごされているお客様の笑顔が沢山あり、改めて日頃よりご協力頂いているボランティアさんには感謝の気持ちでいっぱいとなりました。パネル展を見逃した方でも、ボランティア活動に興味・関心のある方はいらっしゃいませんか? 「説明だけ聞いてみようかな」という方でも構いません。いつでもお気軽に連絡頂ければ嬉しいです。

問い合わせ先

四恩園ボランティアふくろう 向山・田中・遠藤

個人情報管理委員会は8名の職員で構成されています。委員会では、個人情報管理規定及び、個人情報保護方針を職員に周知徹底し、お客様が安心してサービスを利用できるよう、個人情報を適正に取り扱うために必要な知識と具体策を示してください。また、処遇管理など、システムのハード・ソフト両面についての検討。そして、サーバー内の整理整頓の推進、並びに保管の可否に関する情報の提示を目的に活動しています。

近頃では、インターネットを経由し、パソコンがウィルス感染する事例があり、ウィルス対策ソフトを活用しての24時間監視、また職員の多くが所持しているUSBメモリーを介し侵入してくるウィルスに対抗すべく、USBのウィルススキャンの励行を周知する活動も行っています。

お客様の安心・安全のために、邁進していきたいと考えています。

(個人情報管理委員会・奥山)

ふれてフェスティバル2012

突きぬける青空の下、今年も2回目のふれてフェスティバルが開催されました。昨年を上回るご来場者に、会場も大盛況でした。

ふれて市民スタッフが中心となり、近隣の商店、白樺2丁目自治会、四恩園職員が一致団結して開催されているふれてフェスティバル。楽しみと触れ合いのお祭りとなりました。



ふれてフェスティバル2012開催！



狙いをさだめてえ～



綿あめ持って、ピース！



ヨーヨーうまく釣れたかな？



世代を問わずにみんなでイエーイ！



出店も大盛況！



アイヌ文化の息吹を感じて



美しい調べに聞き入ってしました…



あ～楽しいワ～



喫茶コーナーも大賑わい！



ふれて市民スタッフ大活躍



最後には、大ゲーム大会！ 何が当たったかな？



子供達の行列の先には…



♪みんなで、踊ろう、
だいこんマンボ！ っうー！

四恩園クラシック part4



思い出の日々



二人羽織を興する職員



クリスマス会。こちらも職員



懐かしい虎杖浜温泉旅行

平成12年は
こんなことが
ありました。

◆出来事

- ・小渕首相、ジャンボ鶴田逝去
- ・シドニー五輪開催
- ・SMAP木村拓哉結婚

◆流行語

- ・おっはー
- ・ジコチュー
- ・IT革命
- ・最高で金、最低でも金

◆ヒット曲

- ・桜坂
- ・箱根八里の半次郎
- ・夏祭り
- ・サウダージ

平成12年は介護保険制度が施行され、同時に四恩園も開園5周年を迎えました。特養部とデイサービスは夏行事として盆踊りにスイカ割り、中庭での流しソーメンを行い活気に溢れています。

三瓶施設長は第11号の巻頭にて、四恩園が地域の人々に「安心」という付加価値を提供できるように努めていきたいと載せております。北広島市内には当時と比較にならない程の様々な施設が出来ました。今こそ、この三瓶施設長の言葉が必要とされるべきだと思います。



スイカ割り



盆踊り

~ミナパピリカ~

特養部

敬老の日に感謝の気持ちを伝えたい

九月十五日、特養部にて敬老会が行われました。まずは喜寿、米寿、卒寿、長寿、茶寿の紹介が行われました。紹介と共にご家族からの手紙が読み上げられ、昔話や日々の感謝の気持ちに涙する方も。感動の一場面となりました。

職員余興では、『もちつきばやし』が行われ「よいしょ!!」とお客様も一緒に掛け声を出し盛り上がりました。閉会

後には食堂にて『喫茶シオン』が開かれ着物姿の職員とお茶や和菓子を楽しみました。

お客様、ご家族、ボランティアさん、職員とが一緒になり感謝の気持ちでいっぱいの敬老会となりました。

あるお客様から「デイサービスでこんなお食事会ができるなんて良いわね」と言葉をかけてくださったり、子連れのお母さんが赤ちゃんを抱っこさせてくださったりなど、触れ合いたっぷりの外出行事になりました。

みんなさん「ここなら毎月来たい」とおも満悦でした。



ありがとうの笑顔



名物もちつきばやし

課 奥野
(施設サービス)

かたる

アベニューの杜でバイキング♪

デイホームかたるでは、今年度四回の外出行事を企画しています。

九月二十二日から一週間にわたり、北広島市大曲にある「アベニューの杜」に外出してきました。

くるるの杜では、直売所での買い物を楽しむ他、バイキング形式の食事も目的のひとつであります。昼食を外出先で召し上がっていただく

という行事は、かたるでは始めての試みでしたが、皆さんおもいおもいの物を皿に取り、わきあいあいとお食事を楽しんでいました。

バイキングは初めてという方もいらっしゃり、「こんな食べ方ができるんだね」と興味津々のご様子でした。



おしゃべりにバイキング



お腹いっぱい



まいりー



まだまだ食べられます



盛りすぎたかな

サイロの前でっこり



わきあいあい 輪喜愛逢

デイサービス

笑顔盛りだくさんの敬老祭



こんな御馳走嬉しいな

今年は九月十四～十五日の二日間にわたり、デイサービスの敬老祭を開催致しました。今年の敬老祭には、フラダンスや琴奏者の方々がお祝いに来て頂き、見事な踊りや演奏をしていました。お客様の中には、フラダンス経験者の方がおり、「いやー、懐かしくてもう少しで涙が出そうだつたよ。」という声や、拍手しながら「よつ、いいぞ、頑張れ！」と応援するなど皆さん笑顔で楽しまれていた様子でした。

祝賀会では、喜寿・米寿の方々に一人ずつ壇上へ上がって頂き、昔の思い出話しや楽しみにしている事などを伺いながら記念状や記念品、お花などを贈呈させて頂きました。緊張で顔がこわばっている方や、嬉しそうに涙を浮かべていた方がとても印象的でした。最後に記念撮影をし写真を額に入れ、お持ち帰り頂きました。

普段よりひと味違った、おしゃれな服装で



皆で食べると美味しいね



皆でどら焼きづくり

(デイサービスセンター　岡崎哲也)

私たち四恩園職員一同、今年も皆様の長寿をお祝いすることができ大変嬉しく思つております。皆様の健康を心より願つております。

私たち四恩園職員一同、今年も皆様の長寿をお祝いすることができます。

今年の敬老祭を締めくくることができました。

敬老祭の最後は皆さんとホットプレートでどら焼き作り！焼けたどら焼きにチョコペンで思い思いの絵や言葉を書いて頂き、にぎやかな雰囲気で今年の敬老祭になりました。



もう米寿です。早いわ～



米寿になりました



感染予防の標語

〈お客様、職員共々安心安全を第一に感染対策に努めましょう〉

(感染対策委員会)

油断する その手と心が 命取り 一初心に戻りしっかり手洗い一



当センターでは今年から地域交流ホームふれでを活用し、地域の皆様に向けた啓発活動を行っています。一月に「消費者被害の注意喚起」、六月に「遺言の書き方」について実施し、沢山の来場を頂きました。今後は九月に認知症の特徴的症状である徘徊について、原因や徘徊している人に会った時の声の掛け方まで幅広い内容で行う予定です。

この啓発活動では寸劇も併せて行っています。ふれて市民スタッフの方と道都大学演劇同好会の方達の出演協力を得ながら、毎回「味のある」劇を繰り広げています。

啓発活動を契機とし、北広島市団地地区が安心して暮らせる地域になるよう、今後も地域の皆様に興味、関心を持って頂けるテーマを企画したいと職員一同考えております。



寸劇による啓蒙活動

みなみ高齢者支援センター

地域交流ホームふれて キッズコーナー

絵本にふれて

キッズコーナーの絵本を紹介するこのコーナー

今回の絵本は給食番長

「好かんもんげな残せ！」給食を作ることに挑戦する番長。

しかし給食を作ることの大変さを知る事に……。

読み終えた後、おもわず給食が食べたくなる食育絵本です。

安全運転の
標語

・ケアレスミス 事故に言い訳 ききません

(交通安全委員会)

四恩園では安全運転の標語と北広島市内交通事故危険マップを作成し、職員一人ひとりが安全運転を心がけています。

編 集 後 記

今年は暑い日が続きました。夏の暑い年は、冬に寒くなると言われますが、今年はどうでしょうか。敬老祭やふれてフェスティバル、外出行事も無事終わり、尚一層お客様や地域の方々と近くなつたような気がします。人と人とのぬくもりで、心ばかりか過ごしたいものですね。